

ひだご坊

No.367
2020年2月20日

発行 真宗大谷派 高山教務所
発行者 出雲路 善公
〒506-0857 高山市鉄砲町6番地
☎(0577)32-0776
*毎月20日発行 50,000部
三市一郡無料配布
印刷 山都印刷株式会社

念仏に照らされて

「希望のない将来」と 現在の満足

鶴見晃



〔略歴〕
一九七一年静岡県浜松市生まれ。
二〇〇〇年大谷大学大学院博士後期課程満期退学。真宗大谷派擬講。現在、同派教学研究研究所員。岡崎教区第三十二組善正寺衆徒。

二〇一八年の調査（NHK放送文化研究所「日本人の意識」調査）によると、日本では、今の生活に満足している人が増加しているという。「満足している」が39%で、「どちらかといえば満足している」を含めると、92%の人が満足していると回答したそうだ。

二〇一三年の同調査では、この満足度の高さについて、「希望のない将来に比べれば今の生活は「まあまあ」であり、満足してもよいのではと考えたのではないだろうか」（『現代日本人の意識構造「第8版」』NHK出版）と指摘している。生活の満足度の上昇の背後にある「希望のない将来」という生活実感。つくづく

人間とは難しいものだと思う。法話などの機会に、このことをお話しすると一様に驚かれる。「何%の方が満足と答えたと思いますか?」と参加者に尋ねてみると、大体30%から60%の間で考える方が多い。中には10%、20%と思う方も結構いる。逆に80%、90%と思う方は少ない。ご自身は満足ですかと尋ねると、みなそうでもなさそうな反応である。世間の様子を見て、現代の日本人は生活に満足していない人が多いイメージしているのかもしれない。正直に言えば、私自身も調査結果に驚いた一人である。人は未来を見通すことはできない。だからと

いつて、未来を心配せずに生きることもできない。未来がより良いものであるように、悪いものとならないようにと未来の幸福へと私たちはかき立てられ、不安に追い込まれていく。そして、どうしたら未来を確かなものにできるのかを私たちは追い求めるのである。以前は、仕事をもち、家族をもつことなどが幸福への典型的な人生モデルと考えられた。だがそれももう確かではなくなっている。そのように幸福に繋がる確かな道を失い、どこに到るのかわからない不安が私たちに襲っており、「希望のない将来」を実感させるのである。現在の生活への満足度の高さは、その

ような不安と表裏をなすものであるといえるだろう。明治の時代を生きた清沢満之は、「現在安住」（『倫理以上の安住』）と教えている。清沢は、現在に安心して住すとは、「如何なる場合にも平気に生きて」いくことができることであるという。それは吉凶禍福に右往左往せず生きることであるといえようか。ただしそれは確かな道が見え、不安がなくなったということではないだろう。凡夫は、いつでも不安をいだく存在である。けれども念仏においてその不安な現在に安住することができる。それは、どのようなときでも現在が浄土への道の上にあることが教えられるからである。

第38回真宗公開講座 受講料：1回700円

第3回 2月26日(水) 午後2時～4時

講師 **太田 浩史氏**
(高岡教区大福寺・本山同朋会館教導)

講題 「門徒ものしらず?」
チコちゃんに叱られないために」

春の彼岸会・永代経法要

亡き方をご縁として仏法に出会う大切な仏事です。ぜひお参りください。

3月17日(火)～23日(月)
午後1時から勤行・法話

17日(火)	竹田 雅文氏 (東等寺住職)	「欲望の世界と本願の世界」
18日(水)	四衢 亮氏 (不遠寺住職)	「念仏と私たち」
19日(木)	三木 朋哉氏 (浄福寺住職)	「浄土の功德」
20日(金)	三島 多聞氏 (別院輪番)	「この世は自分を探しに来たところ」
21日(土)	北條 良樹氏 (了泉寺住職)	「おしえの深まり～法然から親鸞～」
22日(日)	竹田 和貴氏 (慈雲寺住職)	「願いを憶いおこす」
23日(月)	光本 智見氏 (南春寺住職)	「浄土に生まれる」

飛驒の真宗文化・歴史を学ぶ

「嘉念坊善俊上人顕彰会」 会員募集

750年前に飛驒へ真宗を伝播した嘉念坊善俊上人の遺徳を顕彰する当会は、昭和58(1983)年に発足しました。そのご遺徳を顕彰し、飛驒の念仏の中心道場「御坊さま」に集って聞法に励むとともに、会員個々が各寺院、家庭においても真宗門徒としての歩みを深めることを目的としています。

そのために、善俊上人のみならず、広く飛驒真宗の伝播・文化・歴史について学ぶ講座や講演会を開き、研修旅行も行っています。どなたさまもぜひご入会ください。ご連絡お待ちしております。

- ◆活動内容◆
 - ・総会 3月3日(御命日法要・総会・記念講演)
 - ・会報発刊 (年1回) ・御坊文化講座 (年1回)
 - ・研修旅行 [善俊上人はじめ、親鸞聖人・蓮如上人の名所旧跡や、全国にある真宗各派のご本山等への参拝旅行です。] (年1回)
- ◆年会費◆ 1,000円(会員証発行)
- ◆事務局◆ 真宗大谷派高山別院 (TEL 0577-32-0688)

※このほか、別院定例 毎月3日…善俊上人月命日…にお参りを推奨しています。

嘉念坊上人御命日法要・記念講演

日時 3月3日(火) 午後1時30分から

講師 江馬 雅人氏 (賢誓寺住職)

講題 「現在を生きる」

☎テレホン法話(0577)342313 ☎2月21日～29日:旭野敬子氏「永養寺」 ☎3月1日～10日:村上真生氏「教務所」 ☎3月11日～20日:宮川徳義氏「聖圓寺」 宗教トラブルFAX相談窓口(0577)13210763

家族で語ろう

人生の

「こんなこと」「あんなこと」

佐賀枝 夏文

君に届けたい「言葉」

「つながり」を生きる

君もボクも、ジグソーパズルのひとつのワンピース... 一つ一つのピースが大事... 君は、みんなを支えられ... 君は、みんなを支えている

あのね、ジグソーパズルは一個でもピースが欠けると完成しないよね。一個一つのピースで模様ができるからね。ポイントになるピースもあるけど、それを支えているピースもあるんだ。一個のピースだけでは意味がないし、あるグループだけでも完成しない。友だち関係もジグソーパズルのように、さまざまな関係でつながっている。ひとつのピースでも欠ければ、全体がつかない。それぞれのピースは色も形も違うからいいんだ。もし、みんな同じになっちゃえば、「絵」に成らないからね。

無用なピースは一個もないし、君がいていい、君がいなければならぬんだ。

「サガエさん」は、「色も模様もない、一個のピースかもしれない」「隅っここの一個のピースかもしれない」「そんな、ボクだけ必要なんだとおもったとき、なんだか生きる勇気が湧いてきたんだ。

傷ついたっていいじゃないか

「新品」もいけれど

使わなければ、意味がない

君の「ここからからだ」も使おうと、「君らしく」いい具合になるんだ

大切に丁寧に使おうといいね

どんな道具も、「新品」がいいからって大事にし過ぎると意味がない。使ってはじめて、その意味が発揮できるんだ。それに、使えば使うほどに馴染んで使いやすくなることもある。大切にしながら、「新品同様」で使おうとすれば、道具として値打ちがない。ボクたちの「ここからからだ」も同じなんだ。ひとつと衝突すれば、「ここからからだ」が傷つき元気がなくなることがある。だから「ここからからだ」が傷ついたら、「ここからからだ」を傷つけてはいけないと、使うことを止めたり、無傷の「新品」に交換することを考えてはいけない。

ボクたちは、さまざまな人間関係のなかで生きていく。また、突然の出来事に出会うかもしれない。ボクたちの「ここからからだ」は、保証期間もないし、新品と交換することもできない。ぶつかれば、すり傷や凹みだつて出来ることもある。すり傷や凹みも君の大切な「足あと」とじゃないか。ボクたちの「ここからからだ」は、使えば使うほど、だれでもない「自分らしく」なるんだ。

君でなければならぬんだ

君は、だれとも比べなくていい そのままの君でいい 君がいいんだ

君でなければならぬんだ なにひとつ変えたり、隠すことはない

ひとつは、だれかと比較するとつらくなる。でも、ついひとつはだれかと比べて考えてしまう。それが正しいことではないとわかっていのにやってしまう。友だちと比べられれば、たいがい腹が立つ。ひとつは負ければつらい。それなのに、「なぜ」ぶつかりあうのだろう、競争がすべてを決めるわけではないのに...

君はなにかできるから、それになにかをもっているからいいというわけではない。がんばることはいいことかもしれない、でも、うまくいかなさうなことがある。うまくいかなかったからって、もうダメだと考えなくていい。どんなときだって、そのまんまの君でいいんだ。どんなにヘトヘトでグチャグチャなときでも、君は見捨てられることはない。

うまうまかなかったからって、君は「自分」を責めることはない。どんなときでも、君は変わることはない。「自分」だし、変わることも必要のない「自分」を生きているんだ。大切なお預かりした「いのち」を丁寧に生きようじゃないか。



次回は尾角光美さんの「仏教×グリーフケア⑦」です。

親鸞聖人御命日法要

(別院定例法座)

日時 2月28日(金) 午後1時から

講師 小原 正寛氏 (専念寺)

会場 高山別院 本堂

講題 「後生の一大事」

聖教学習会(第2回)

日時 3月12日(木) 午後1時30分から

講師 藤元 雅文氏 (大谷大学准教授)

会場 別院 2階研修室

テーマ 「正信偈」に学ぶ」

参加費 500円

宗親親鸞聖人誕生八百五十年 立教開宗八百年慶讃講演会

テーマ 「人と生まれて」

日時 第2回 3月13日(金) 午後1時30分から

講師 北條 頼宗氏 (高田教区照行寺住職)

会場 高山別院御坊会館

主催 高山一組真宗の会

協賛 高山一組同朋会代表者協議会

蓮如忌法要

日時 3月25日(水) 午後1時から

講師 三島 多聞輪番

会場 高山別院 本堂

講題 「いのちの願い... 死と再生...」

総合建設業 カ 奥原建設株式会社 高山市総和町三丁目九〇 TEL(0577)321076

こすぎACT 寺院仏具製作・修理 仏壇製造・洗濯修理 〒506-0011 岐阜県高山市本町3-60 TEL0577-32-1745 FAX0577-35-1630

3月11日(水) 午後1時から 大谷婦人会 定例法座 三島多聞 別院輪番

☆日当たり最高 全面バリアフリー 水場近隣☆ 新宮墓苑(墓池) 空あり1区画40万円

久寿玉 KUSUDAMA 平瀬酒造店 TEL 34-0010

ブックス・アイオー (駿河屋アスモ店前) 仏教書は2階です TEL0577-33-4768

雲上 山純先 やまのひかり 平田酒造場 高山市上二文町43 TEL 32-0352

スナック卯本 うづぎ、 〒506-0017 高山市朝日町13-3 ☎0577-36-0030

オンデマンド印刷 フルカラーの少数数の印刷に対応します 町内会総会資料・その他資料等のモノクロー印刷にも対応

印刷物全般・自分史製作 山都印刷株式会社 高山市西之一色町二丁目九〇一八 TEL0577-33-1495

春の高山祭の御入用に間に合います。まずはお電話を 楽々祭礼提灯 3月末ご注文確定分まで4/14(火)・15(水)の高山祭に間に合うようご納入!!! 提灯製作 見積無料 株式会社 高山提灯

お仏壇 ほりお 仏壇工芸 高山市三福寺町369-7 TEL0577-33-6686

リフォーム 補修工事 クリーニング 墓じまい お墓の悩み、ご相談ください。 ご相談・お見積り無料! FAX33-9763 高山市新宮町 2498-1 新宮小学校前 株式会社 奥田石材 OKUDA TEL0577-33-9601